

令和4年第7回真岡市教育委員会 会議録

1. 招集日時

令和4年8月25日（木） 午前10時00分

2. 場所

真岡市役所 教育委員室

3. 出席委員の氏名

- | | |
|--------------------|---------|
| (1) 教育委員会教育長 | 山 中 孝 雄 |
| (2) 教育委員会委員（職務代理者） | 杉 村 廣 子 |
| (3) 教育委員会委員 | 大 島 克 弘 |
| (4) 教育委員会委員 | 佐 藤 進 |

4. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

- | | |
|---------------------|---------|
| (1) 教育次長 | 古 澤 博 之 |
| (2) 学校教育課長 | 藤 田 主 計 |
| (3) 生涯学習課長 | 谷 口 栄 治 |
| (4) 二宮分館長 | 中 里 信 昭 |
| (5) 学校給食センター所長 | 風 山 俊 明 |
| (6) 自然教育センター所長 | 菅 野 康 三 |
| (7) 学校教育課総務係長 | 高 崎 博 美 |
| (8) 学校教育課教育政策係長 | 鈴 木 美 苗 |
| (9) 学校教育課指導係長 | 保 坂 一 哉 |
| (10) 学校教育課教育政策係指導主事 | 横 山 祥 子 |
| (11) 学校教育課総務係主事 | 太 田 美 幸 |

5. 会議録の作成に当たった者

学校教育課総務係主事 太 田 美 幸

6. 令和4年第5回真岡市教育委員会会議録署名委員として指名を受けた委員

大 島 克 弘 委員
佐 藤 進 委員

7. 開会時間 午前10時00分

8. 令和4年第6回真岡市教育委員会会議録の承認

高崎学校教育課総務係長が、会議録案を事前に送付した旨を説明し、審議の結果、原案のとおり承認された。

9. 教育長等の事務報告

古澤教育次長が、真岡市教育委員会教育長等の事務報告を行った。

大島委員より、県立高校再編に関する意見交換会は、具体的に対象となっていることがあるのかとの質問があり、古澤教育次長よりまだ具体的な話ではなく、総論的に栃木県内全体で子供の人口が減少しており、今後再編が必要になってくるため県の教育委員会の高校再編推進担当より説明があった旨説明。

杉村委員より、アンバサダー委嘱の基準やこれからの活動、真岡市のPRのため設けたのか、これからも委嘱していくのかということについて質問があり、古澤教育次長から、アンバサダーには、市に関連のある方に委嘱しており、真岡市のアンバサダーとしての名刺を活動の中で渡す等真岡市のPRをしていただくことになる。

また、市長の方針として多くの方に真岡市のことを知っていただくため適任者がいる場合は委嘱していく方針である旨説明。

10. 議案

議案第22号「令和4年度真岡市一般会計補正予算について」

藤田学校教育課長から、小学校費及び中学校費ともに光熱水費において、電気料の高騰及び新型コロナウイルス感染症対策のため、各学校において換気を徹底して教育活動を実施していることから、大幅な電気料の増加が見込まれるため、小学校費3,467万4,000円、中学校費1,012万6,000円を補正予算として上程するものであることを説明した。

続いて同課長より現在運行しているスクールバスの5年間の契約が令和5年3月に終了する予定であり、今後も引き続きスクールバスを運行するため、令和4年度から9年度までの6年間の債務負担行為を、限度額5億2,883万円で設定するものであることを説明した。

また、同課長より、英語の学習効果を高めるとともに、国際理解教育を推進することを目的に小中学校に外国語指導助手AETを配置しているが、前回のプロポーザルから令和5年3月で5年が経過することから、引き続き各校にAETを派遣するため、令和4年度から9年度までの6年間の、債務負担行為を限度額3億9,248万円で設定するものであることを説明した。

次に、中里二宮分館長から、新型コロナウイルス感染リスクの軽減のため、各地区公民館のトイレを和式から洋式へするため、778万8,000円を補正予算として上程するとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を歳入として計上するものであることを説明した。

次に、風山学校給食センター所長から、物価の高騰により給食の食材価格も上昇したため、高騰分を助成し、保護者の負担を軽減するため第一学校給食センター費2,128万7,000円、第二学校給食センター費427万2,000円を補正予算として上程するとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を歳入として計上するものであることを説明した。

また、同課長より第二学校給食センターの小荷物専用昇降機について経年劣化により部品の一部に不具合が見つかり、修繕が必要となったため90万1,000円を補正予算として上程するとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を歳入として計上するものであることを説明した。

次に、菅野自然教育センター所長から、新型コロナウイルス感染リスクの軽減のため、厨房のトイレを和式から洋式へするため、45万円を補正予算として上程するとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を歳入として計上

するものであることを説明し、審議となった。

杉村委員より電気料について、計上された不足分は9月からの不足分かとの質問があり、藤田学校教育課長から今年度3月までの見込みでの不足分という考えであり、現在を含めた年間での不足分として計上している旨説明。

同委員より、債務負担行為に関して期間の設定が契約期間の令和5年度からではなく、令和4年度～令和9年度と6年間となっていることについて質問があり、藤田学校教育課長から令和4年度から入札業務やプロポーザルの業務を行うため令和4年度から9年度までの6年間、金額は5年間の金額という形になっている旨説明。

佐藤委員より、公民館の施設トイレについてまだすべてのトイレが洋式化されていないが、いつまでにすべてのトイレを洋式化する計画かとの質問があり、中里二宮分館長から、今回の計画では高齢者の中には洋式トイレに不慣れな方もおり、和式トイレの利用があるため一部和式トイレを残す計画である旨説明。

大島委員より、電気料について小学校の電気料の補正額が中学校に比べて大きい理由について質問があり、藤田学校教育課長より小学校については、昨年度の当初予算の時に、減額していた経緯があり補正額が多くなっている旨説明。

審議の結果、原案のとおり承認された。

11. 報告

報告第20号「令和4年度真岡市教育委員会点検評価報告書について」

高崎学校教育課総務係長より、報告書作成の目的及び概要について報告した。

佐藤委員より、教職員は休憩時間を確保できているのか、また自席での休憩となっているのかとの質問があり、保坂学校教育課指導係長より在籍する教職員を二つの班に分けて、時間をずらして休憩の時間を設定している旨説明。また、学校の施設上休憩室はないので、自席での休憩または設置してあるソファ等での休憩となっている旨説明。

報告第21号「全国学力学習状況調査の結果について」

横山指導主事から、全国学力学習状況調査、栃木っ子学習状況調査、第1回真岡市総合学力調査について各教科の状況を説明。今年度の調査全体を通して、真岡市では理科において、小学校中学校ともに実施したすべての学年で、県や全国の平均正答率を上回るという良好な結果が見られている旨説明。また、各種学力調査の結果を受け、各学校では学力調査の結果に基づいた学力向上改善プランを作成している旨説明。

佐藤委員より理科の成績が良いとのことだが、真岡市の理科の授業で優れている点について質問があり、横山指導主事より科学教育センターにいる指導主事が各学校を回り、指導のサポートを行い、教職員の指導の向上を目指している旨説明。

報告第22号「学校における働き方改革推進プラン（第2期）について」

保坂学校教育課指導係長より、推進プラン作成の目的及び概要について報告した。

大島委員より部活動指導の負担軽減について、休養日は週当たり2日以上とのことだが、現在もこのように取り組んでいるのか、今後の目標なのかとの質問があり、保坂学校教育課指導主事から真岡市の方で設定した部活動指導のあり方について設定されているものであり、現状も週当たり2日以上で取り組むようにしている旨説明。

報告第23号「令和5年以降の成人式名称及び式典日程について」
谷口生涯学習課等より、和5年以降の成人式新名称及び式典日程の概要について報告した。

12. その他

(1) 令和4年10月の教育委員会について

高崎総務係長から、9月の開催日程案について、10月25日（火）午後2時または、27日（木）午後2時の2案を提案し、協議の結果、10月25日（火）午後2時に決定される。

13. 閉会時間 午後10時40分